



重症心身障害病棟 対面行事 「心魂プロジェクトデリバリーパフォーマンス」

療育指導室 保育士 小野澤 真未

NPO法人心魂(こころだま)プロジェクトは、劇団四季や宝塚歌劇団出身としたミュージカル俳優が病院や特別支援学校などへプロのパフォーマンスを届ける活動をされています。

2014年の設立当初から当院にお越しください、2024年5月で50回目の公演を迎えました。昨年までオンライン公演でしたが、今年度からは対面でのパフォーマンスが復活！4年半ぶりに会えたことに利用者さんは声や全身で喜びを表現され、手作りの看板やうちわを使って心魂の皆さんに感謝を伝えました。

公演ではソーラン節やポップソング、心魂オリジナルソングが披露されました。本格的な照明を中心とした演出や、力強くそして時には優しく語りかける歌声に、利用者さんだけではなく私たち職員も魅了され、その世界観に引き込まれました。

病院で日常生活を送っている利用者さんにとって、プロのパフォーマンスにふれることはとても貴重な体験です。長い年月を経て50回もの公演を重ねる中で深まったこの繋がりを、これからも大切にしていきたいです。心魂プロジェクトの皆さん、和やかで笑顔溢れる時間をありがとうございました。



「心魂プロジェクトデリバリーパフォーマンス」

看護の日

看護師長 長橋 克

5月12日は『看護の日』です。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、『看護の日』が1990年に制定されました。

21世紀の少子超高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、わたしたち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずに誰もが育むきっかけとなるよう、各病院で取り組んでおります。

近年、地震による震災や大雨による水害が起き、避難中の生活の様子の報道が多くなり、災害への備えと災害時の支援に皆様も注目されていることと思います。令和6年1月の能登半島地震においては、千葉東病院も災害派遣チームを震災地へ派遣し、被災者の方々への支援を行いました。千葉東病院は、慢性疾患の患者さんが多いことから、災害前の備えが大切かと思えます。そこで、5月13日から5月17日を看護週間とし、『震災時の備えを考える』ポスターを事務受付前に展示しました。また、患者さんの災害時の備えに役立つようパンフレットを作成し、多くの方に手に取って頂きました。皆様の災害への対策は万全でしょうか？



ナイチンゲール



これなーんだ？

栄養管理室



この機械でつくるものは何でしょうか？

< ヒ ン ト >

- ①調理室にあります
- ②365日ほぼ3回使います
- ③中をのぞくと白い粒と水があります
- ④できあがりは あっつあつ です
- ⑤きっと食べたことあるのでは？

正解は・・・

これは「炊飯器」です。
入院中の食事で提供する ごはんを炊いています。
真ん中にある釜ひとつで約35人分の仕上がりになります。



「ふれあい看護体験」を実施しました！

看護師長 白井 和子

看護師長 齊藤 昭子

ふれあい看護体験は、高校生を対象に看護の実践場面の見学・体験を通して、看護についての知識や理解を深め、看護の道を志す人材確保のため、毎年、千葉県看護協会と協力して行っています。

今年度は、7月29日(月)に実施しました。猛暑の中、千葉県内の9校の高等学校から14名の参加がありました。

今回の看護体験では、白衣に着替え、記念撮影と施設内の見学をしました。白衣を着ることで「看護師になるという実感が沸いた」「初めて白衣を着たのでそわそわしてしまった」などの感想がありました。

看護の実践場面の体験では、看護師が日々行っている血圧測定、脈拍測定、酸素飽和度測定、瞳孔の確認、心音・呼吸音の聴取を行いました。胸に聴診器を当て、耳を澄まし心音・呼吸音が聞こえると「聞こえた」と嬉しそうに会話をしていました。

現役看護師への質問コーナーでは、看護師を目指した理由や仕事のやりがい、看護学校や大学受験の試験対策などの質問等があり、活発な意見交換の場となりました。

学生からは、「とても貴重な体験ができた」「色々なことを知ることができて楽しかった」「直接、看護師から話が聞けて良かった」「看護師になりたい気持ちが高まった」などの感想がありました。今回の看護体験で看護へ興味を持ち、看護の道へ進んで欲しいと思います。



呼吸音聴診中



酸素飽和度確認中



瞳孔確認中



血圧測定中



診療科紹介

糖尿病内分泌内科

院長 西村 元伸

糖尿病内分泌内科は名前の通り、糖尿病と内分泌疾患(甲状腺、副甲状腺、副腎、脳下垂体などホルモンを産生する臓器の病気)を扱っています。糖尿病の患者さんは非常に多く、2016年の「国民健康・栄養調査」によると「糖尿病が強く疑われる者」は、全国民の12.1%と推計されています。かかりつけ医の先生と専門施設が連携しながら診療することが大切な疾患です。内分泌疾患も決して珍しい疾患ではありません。診断できれば治療効果も期待できますので、疑われる場合は是非受診してみてください。

【糖尿病】

糖尿病はしっかり管理できれば天寿を全うできる病気です。しかし、放置すると腎不全、眼底出血、神経障害の原因となり、更に心筋梗塞、脳梗塞の原因にもなります。従って、健診で無症状のうちに発見をし、早期から適切に管理していくことが重要です。一口に糖尿病といっても、1型、2型、薬剤性など糖尿病も様々ですので、患者さんの背景をしっかりと把握したうえで治療させていただきます。千葉東病院では、専門医3人、糖尿病認定看護師1人、糖尿病療養指導士6人を中心に診療しております。以下のような場合は是非受診してみてください。

- (1)初めて糖尿病と言われた時:最初が肝腎です。程度によって外来、または入院で初期指導、治療を開始します
- (2)治療の調整が必要な時:血糖悪化時、高齢となり処方を見直すべき時、など
- (3)シックデイ
- (4)合併症が発症してしまった時:特に腎症は腎臓内科と協力しながら管理方法の調整をします

【内分泌疾患】

甲状腺についてはバセドウ病、慢性甲状腺炎、亜急性甲状腺炎の診断、治療、甲状腺結節の検査をしています。その他、原発性アルドステロン症など二次性高血圧、電解質代謝異常(ナトリウム、カリウム、カルシウムなど)にも対応しています。

2023年度 診療実績

糖尿病	
1型糖尿病	66人
1型以外の糖尿病	約1000人
持続皮下インスリン注入療法(CSII)	6人
間歇スキャン式持続血糖測定	約50人
主な内分泌疾患、検査	
甲状腺、副甲状腺エコー	421件
甲状腺穿刺細胞診	42件
バセドウ病	77人
脳下垂体機能検査(入院)	12件

糖尿病について

(初期糖尿病患者さん用)



国立病院機構千葉東病院
糖尿病教育スタッフ編集

糖尿病指導用の教材